看護基礎教育4年制化に関するアンケート

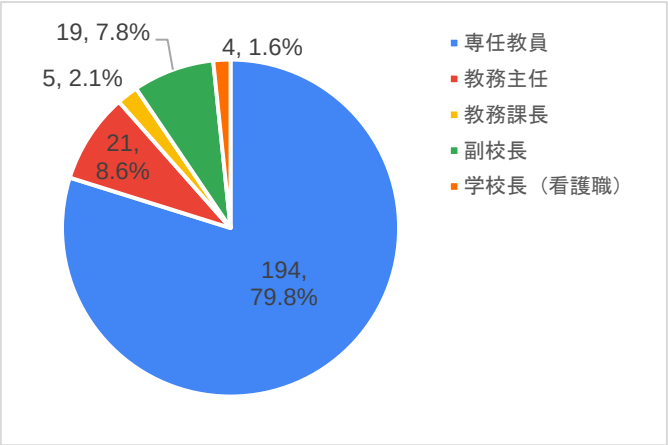
調査期間：令和4年8月5日～8月31日

調査対象：愛知県内の看護師養成所（41校）に勤務するすべての看護教員

回答数：243件

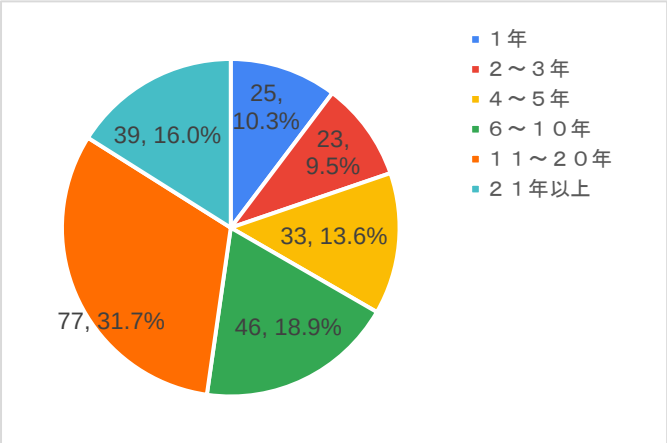
1. 現在の役割について

専任教員	194
教務主任	21
教務課長	5
副校長	19
学校長（看護職）	4
総計	243



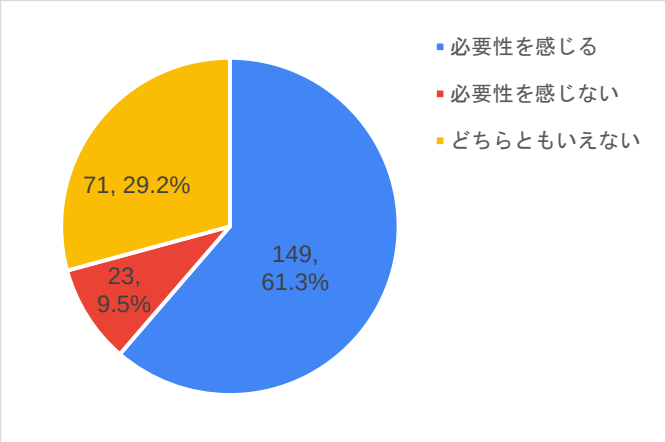
2. 教員経験年数について

1年	25
2～3年	23
4～5年	33
6～10年	46
11～20年	77
21年以上	39
総計	243



3. 看護基礎教育4年制化について

必要性を感じる	149
必要性を感じない	23
どちらともいえない	71
総計	243



4. 看護基礎教育4年制化が必要と感じる理由（最も該当する3つ）

3年間ではカリキュラムが過密である	141
学生の負担が大きい	81
学生のリフレクションの時間が確保できない	80
教員の負担が大きい	69
教養分野の内容が不足している	26
社会性が育たない	34

【その他】・能力の獲得のための時間不足
・国家資格である看護師の育成が3年では専門性が不足している

5. 看護基礎教育4年制化の実現に向けての問題や課題（最も該当する3つ）

カリキュラムの再編が難しい	63
ハード面の整備が難しい	83
実習計画の見直しが難しい	54
教員の確保が難しい	92
学生の経済的負担が増える	65
大学との差別化ができない	66

【その他】・学校が閉校するため
・施設の物理的、人的、経済的負担が大きい
・大学思考が強くなる
・世に出る看護師の数の担保
・大学に統一する必要があるができない
・統合カリキュラムのあり方

6. 看護基礎教育4年制化の必要性を感じない理由（最も該当する1つ）

現状で卒業時の教育目標に到達できている	9
国家試験の合格率が全国平均またはそれ以上維持できている	2
短期間で看護師資格が取得できるメリットがある	9

【その他】・大学との教育の差別化
・卒業時到達度には個人差があり、基礎教育の年数だけでは質を問うことは困難だと考えます

・専門分野の内容を増やすのではなく、精選が必要と考えるから

7．看護基礎教育4年制化の必要性について「どちらともいえない」と感じた理由
「どちらともいえない」と感じた理由のまとめ

4年制にしても十分な教育効果は期待できない	・看護を創造する力を伸ばすと思えない。 ・ゆっくり教育することで臨床のスピードについていけない学生が多くなるのではないか。 ・実習の在り方を根本から考えないといけない。 ・臨床の求めるものと基礎教育の目指すところの乖離がある。 ・3年でも国家試験合格率は100%であり、十分学力がつけられるように対応している。 ・論文のための1年となる。 ・重要なのは学びのための仕掛けづくりだと思う。 ・カリキュラムの移行が不安である。 ・ゆとりの時間があるとバイトに時間をあてたりする。 ・ゆとりの時間が増えるとゆるみやすい。
教育の質向上のために4年制が必要	・知識・技術習得の時間確保ができる。 ・カリキュラムが過密で詰め込みである。 ・3年生で2つ実習を落とすと留年になる。 ・社会的地位の獲得やキャリア形成のために必要。 ・4年かけた方がよい学生もいる。
学生の経済的負担が増える	・経済的支援が必要である。 ・修学資金ありきだと就職先の選択肢が減る。 ・社会人や早く働きたい人には選択肢が狭まる。
大学との差別化が難しい	・資格が専門士である。 ・給与・役職に差があるためモチベーションが下がる。 ・学生確保に負担がかかる。
設備面の整備が難しい	・教室確保が難しい。
看護師確保が困難になる	・小規模・個人病院への就職を希望しない。 ・1年卒業生の就職がないと母体病院は困る。

【理由の詳細】

- 教育内容が増加しており3年間での教育に余裕のなさを感じる一方、専門学校としての役割である、実践者を早期に輩出するという点に矛盾を感じる。学位が変わる点についても混乱をきたすのではないか。
- 必要性はあると思うが、カリキュラムの移行や学校の設備面で不安がある。教室確保など
- 4年生制化は必要だが　就職後の教育体制が医師のような研修医制度でない中ではどちらとも言い難い
- 学校教育を長くし過ぎても無意味な気がするから。
- 経済的理由で四年制に行けない学生もいるため
- 4年に延ばすこと、つまりは時間を延ばすことが看護を創造する力を伸ばすとは思えない。今でも限られた時間の中で、創造する力を伸ばしている学生も多く居る。そして、ゆっくり教育することで、臨床現場のスピードについて行けない学生も多くなるのではと危惧される。さらに、専門学校に入学する学生は、経済的に厳しい学生も多く居り、1年伸ばすことが学生の不利益となる可能性があるため、こちらを選択した。
- 実習の在り方を根本から考えないと年数だけ伸ばしても意味がない
- 准看護師学校がまだ存在しているから
- 4年制化と大学化を混同しているのではないか

- 3年制だから養成所を選ぶ社会人もいるから
- 今後も教育内容が増えそうなら必要と思うが　教員の負担が増えるため教員の労働環境改善を先にしてほしいから
- ハード面では学生を収容できない
  学びの期間が長くなればゆとりは生まれるが、その分習得できるものが増えるのかと言えばそうでない気もする
- 現在、3年で専門学校のカリキュラム内容は、良いと思います。もし、もう1年学習をするなら、就職一年めを研修として、実施したら臨床判断能力や社会人基礎力が着くと思います
- カリキュラムを考えると3年間では過密だが、大学と専門学校の特殊性を考慮すると3年制のメリットもあると思う。
- カリキュラムとしては4年制がいいと思うが、専門学校と大学との違いが明確にならないと思う
- ゆとりは出て、教育の幅は広がるかもしれないが、必ず四年ということなら看護師を選択肢から外す人も出てくるかもしれない
- 4年にして知識や技術習得の時間は確保できるが、大学と同じ年数で現場で給与に差がでて、学費など負担が増えるとなると、学生のモチベーションは下がるだろうし、看護師に成りたい学生も減ると考えられるため。
- 3年間の教育を経た卒業生が、臨床看護師として育っていないわけではない。
- 自分自身は必要と感じないが、4年かけた方が良い学生もいるから
- 必要だと思うが、経済面など考えると3年課程が必要な人もいると考えます
- 1年卒業生がいないことで母体となる病院等が困るのではないかと思うため。選択肢として3年と4年とあっても良いと考えるため。
- 教育としては4年制がよいが、3年制の需要も感じる
- 4年制にするとのメリットがない。ハード面で困難。
  看護師不足のこの時代に4年制にすれば、准看護師制度を導入した時のような状況になる。
- 確かに、看護として学ぶべき事は増えていると思います。そのためには余裕のあるカリキュラムの設定が必要だと思います。しかし、学生の確保、看護師になりたいと考える人に一年長くなるだけで相当な負担が感じられると思います。
- 臨床の求めるものと、教育の目指すところの乖離があるまま4年制化だけ進めても、卒後が大変になるのではないかと思う反面、看護の専門性を高め社会的地位の獲得やキャリア形成という側面を考えると必要な事だとも思うため。
- 4年制化が実現すればカリキュラム的にも余裕ができると思うが、現実問題ハード面等が難しいと思う。
- コロナ感染がなかなか収束ぜず、効果的な教育ができてないと感じるため
- それぞれに利点がある
- タスクシフトが進む中で、本来看護師が学んで、対応すべき内容は、社会情勢に合わせて追加するものもあれば、減らせるものもあると考えるから。
  また、現存の統合カリキュラム校が5年制になるとメリットが無くなる気がするから。
- 学習者のニーズが多様であるから
- 3年では過密であるのは確かであり、知識の定着、しいては国試対策が大変である。しかし、時間があってもその分バイトなど時間を当てるだけの学生が多くいるのではないかと予測され、結局は同じなのかと思う。
- 新カリキュラムになり、ゆとりが無い状況を目の当たりにしている。学生も教員も日々追われている感じがする。教える内容は4年掛けてゆっくり教えるのが良いと思う反面、専門学校では3年で看護師免許を取得できる利点もあり入学してくる学生もいる。経済的に厳しい学生の支援がなければ4年は難しいと思う。
- 自身は4年教育を受けたが、経済状況やすぐに働きたい人もいるため。
- 3年で卒業出来る現実があるなか、今の状態で1年伸ばす理由はなにか。もっと充実したカリキュラムができるのか、ゆとりの時間が増えるだけなのか。ゆとりの時間が増えると学生は弛みやすいため、その時間が無駄だと思う。
  逆にしっかりカリキュラムを考えて臨むのであれば充実した時間となると考えるため
- 時間をかければそれだけ手厚い指導はできると思う。しかし、そうなると時間や費用が嵩み、経済的な理由で学生の選択肢を狭めやしないか？と危惧する。
- どちらの利点、欠点を感じるため

- 求められる教育内容を考慮すると、3年ではゆとりがないと感じる。しかし、金銭的理由等で基礎教育を 3年で終えて就職したい学生もいる。また、臨床への看護師の輩出に関しても心配である。

- 大学行かない利点がない。
- 大学教育は良いと思うが、専門学校では現状4年制にするには、課題が多い。
- 大学と同じ期間の修業年限なのに、専門士の資格しかもらえないので、入学生が流れてしまう。しかし、カリキュラムのみを考えれば、3年制だと時間数的に厳しい。そのため、どちらとも言えない。

- カリキュラムの過密さは問題だと感じるが、時間割りを組めない訳ではない‥
  四年制にすると、大学との違いなど専門学校の良さがなくなる‥
  当校に通う学生を見ていると、経済的な問題を抱えている学生が少なからずいる‥
  以上の点から、どちらとも言えないとしました。

- 金銭的理由で3年課程にした学生にとっては負担。3年間では、詰め込む形になっていて学生にも余裕がなく感じる。大学の教員と看護学校の教員との知識の違いから、どういう4年にするのか考えると難しく感じる。

- 新カリキュラムが始まったばかりで、困難であるかはっきり分からない為。
- 色々な看護師がいてよい
- 現在のカリキュラムの過密さや、専門職としての教育の質の向上を考慮すると、4年制にした方がいいと考える。しかし、学費、修業年限の面で3年制の専門学校を望む学生もいるのは事実。どちらもメリット、デメリットがあり、どちらともいえない。
- 何のためのプラス1年と考えるのかが、曖昧に感じられるためです。大学化教育に伴う内容の変化、時代に伴い求められる基礎力の肥大化、学生気質の変容に伴う教育力の変容の必要性等々、吟味しないと回答できないです。

- 4年となると、論文のための1年という印象がある。専門士は3年で取得できるのではないか。
- 教育内容は増えているため4年制化することはその点においては理解できる。しかし、経済的に厳しい学生がいることや、社会人経験のある人にとっては教育に必要な年数が増えるとさらに看護師資格を取得しにくくなることが考えられる。看護師になりたいという方に門戸を広げるためには3年制も必要なのではと考える。看護師養成所の魅力は短期間で資格が取得できる、安価で取得できることであり、それがなくなれば看護師養成所のメリットはなくなるだろう。また、大学卒業した学生が個人病院や小規模病院に就職することを希望しないことは容易に想像できる。と考えると、どうそこで働く人材を確保するかも問題になると思う。大きな問題で書ききれない。

- 3年で学ぶ事が非常に詰め込みと感じるが、現状行えていることも考えると、どちらともいえないと感じたため

- 3年では十分ではないと思うが、4大学と同じ4年でも学士は取得できないため。
- 教員になって1年目であり、看護基礎教育の理解や経験がが不十分での解答申し訳ありません。3年間でのカリキュラムは過密であるため、4年かけて基礎能力を身につけていけるとよいと思いますが、看護師不足を考えると3年間での卒業も必要なのかと思いました。

- 学生の背景は様々であり、看護基礎教育の過程は学習者のニーズに応じて様々であって良いと思う。
- 学習内容として、学生自身が深めるための時間が必要であると感じる。
  ただ4年間という、時間があれば良いのではない。
  時間があればあるだけの学習となる。学習内容として4年必要な内容とすることが、4年につながると考える。
  専門学校が4年制となると、大学は、5年または、6年制？

- どちらもメリットがあるから
- 教育内容の量を考えると4年制は必要だと考えます。しかし、在学期間が増えることでの授業料の負担や卒業後の大卒との扱いの差により、専門学校が大学と比較して選択肢として有効かどうかは疑問が残ります。日本の経済状況を考えると、授業料の負担は、進路の選択に大きな影響があると考えます。専門学校は、経済的弱者に対する学びを支える場であると考えます。それを補うために修学資金ありきを前提にするとするならば、就職先の選択肢を奪いかねないとも考えます。ただ、学業以外でアルバイトで収入を得ながら学業が可能になるならば、4年制にしてもいいかもしれません。
  少子化が進む中、看護師の確保には、移民等の外国資本が必要になるかもしれません。単に教育内容だけでなく、日本で働くために必要な生活基盤を整えることも含めて、看護師育成を考える必要もあるかもしれません。

- 個々の学生によって、3年制で良いと思う者と4年制にした方がよい者といると考えるため
- まだ教育機関での経験が少ないため

・3年生の専門学校も需要があると思うため、必ずしも4年制化にするのはいかがなものかと思うため。
・現在、3年で卒業できているため、4年かけるのも学生の負担(学費など)にもなるかと思う。ただ、4年かけて、ゆっくり学ぶこともいいかと思う。

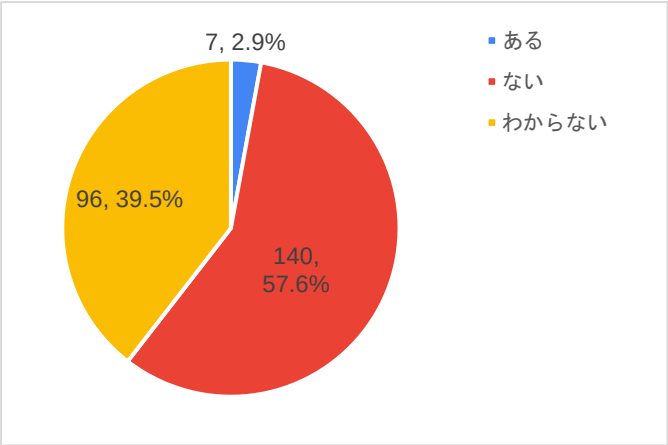
・まだ、教員になり日が浅くよくわからない
・4年制化にするだけでは、問題は解決しないと感じる。
3年でも4年でも重要なのは学生の学びのための仕掛け作りだと思っている。
何をどこまで到達させるのか、そのために教育内容･方法をどのようにするかではないだろうか。

・看護実践力や臨床判断能力の基礎を身につけるためには、今の時間では、難しいと感じるが、4年に延長するためには、実習施設や学校の環境も整えなくてはならず、難しい

・メリット、デメリットがある
・現在の学びの量から考えると、4年生化は必要かもしれないが、3年でやれないこともないのでは。4年になると大学との差別化というか養成所の利点(看護士になれるまでに費やす時間、お金）がなくなる。4年かけるのに資格としては養成所卒業になり、お給料や役職には差がでる。

・過去5年以上国試100%であり、3年制でも十分学力はつけられるように学生対応しているし、金銭的に苦しい家庭の学生も多い。しかしカリキュラムはギュウギュウで、3年生で2つの実習単位を落とすと必然的に再実習が組めずに留年になる。また、十分に準備をして再実習に臨むだけの猶予がない。

・4年間で現状の詰め込み教育からは脱却できるが、早く看護師免許が取得できるという専門学校のメリットがなくなってしまうと感じています。
大学よりは学費は安いとは思いますが、経済的にも4年になることでの負担が増えてしまうことも懸念します。

8. あなたの看護師養成所では、将来、看護基礎教育4年制にする計画について

ある	7
ない	140
わからない	96
総計	243